

7B52 クイックマニュアル

はじめにお読みください

この時計はソーラー駆動の電波修正ウォッチです。
 ・光を「電気エネルギー」に換え、時計を動かしています。
 ・時刻情報をのせた電波を受信することにより、正しい時刻を表示します。
 (日本の電波を受信することができます。)

全国共通フリーダイヤル **0120-612-911**

お客様相談室

〒100-0005

東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル

〒550-0013

大阪府大阪市西区新町 1-4-24

大阪四ツ橋新町ビルディング

セイコーウォッチ株式会社

本社 〒105-8467 東京都港区虎ノ門2-8-10

http://www.seiko-watch.co.jp

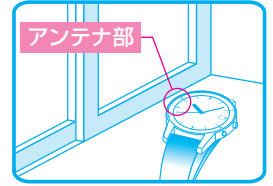
1 ご使用にあたって

■ 充電を心がけましょう

・光のあたるところに置く・保管するなど日常的に十分な充電を心がけましょう。

■ 電波を受信しやすくするために

・窓際など電波を受信しやすい場所に置いてください。



アンテナは9時位置にあります。
 アンテナ部を窓の外や送信所の方向に向けると、より受信しやすくなります。

※ 送信所の場所 → ⑥ 受信範囲のめやす

・受信中は動かさないでください。

安定した状態で電波を受信するために受信中は時計の向きを変えたり、傾けたりなどせずに、静止した状態にしてください。静止していない状態では電波の受信はできません。

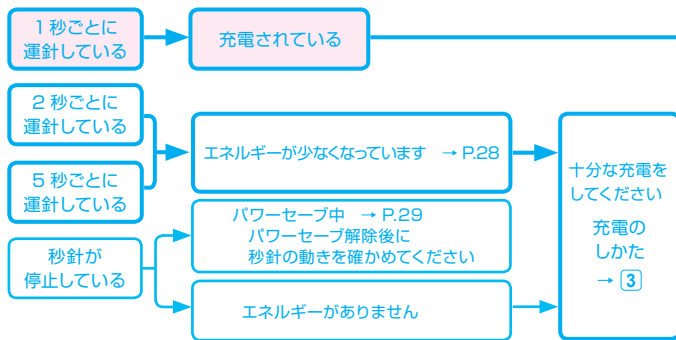
※ 受信中にボタンやリゅうずを操作すると受信がキャンセルされます。

※ 電波の状況により最長12分かかります。

2 ご使用の前に 取扱説明書 P.16

① エネルギー残量を確認する

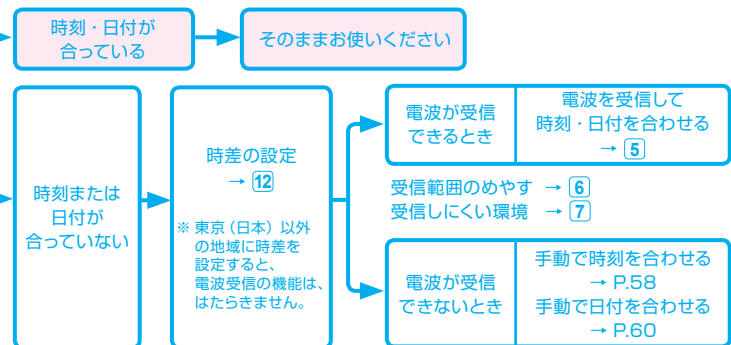
秒針の動きを確認して、エネルギーが不足しているときは充電をしてください。



※ 充電をしても1秒進針にならないとき → こんなときは: 充電 P.68

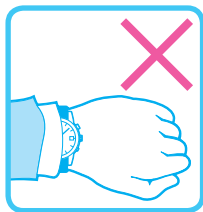
② 時刻・日付を確認する

※ この時計は、リゅうずを回しても針が動きません。
 時刻または日付を修正するときは、下記のページを参照してください。



3 充電のしかた 取扱説明書 P.26

文字板に光をあてて充電してください。



快適にご使用いただくために、十分な充電をすることを心がけましょう。

以下の状況では充電不足によりエネルギーが切れ、時計が止まる可能性が高くなります。

- ・時計が衣類の袖の中に隠れている
- ・光のあたりにくい環境での使用や保管が続く

※ 充電の際は、時計が高温にならないようご注意ください。(作動温度範囲は-10℃~+60℃です。)
 ※ 使いはじめ、または充電不足で停止していた時計を駆動させるときは、「④ 充電にかかる時間のめやす」を参考に、十分な充電を行ってください。

4 充電にかかる時間のめやす 取扱説明書 P.27

以下の時間をめやすに、充電を行ってください。

照度 lx (ルクス)	光源	環境 (めやす)	フル充電まで	確実に1秒進針になるまで	1日ぶん動かすには
500	白熱球	60W 60cm	-	-	5時間
700	蛍光灯	一般オフィス内	-	-	3時間
1000	蛍光灯	30W 70cm	-	120時間	2時間
3000	蛍光灯	30W 20cm	90時間	30時間	30分
5000	蛍光灯	30W 12cm	70時間	24時間	24分
1万	蛍光灯	30W 5cm	25時間	8時間	9分
	太陽光	くもり			
10万	太陽光	快晴 (夏の直射日光下)	8時間	2時間	3分

「確実に1秒進針になるまで」の数値は、止まっていた時計に光をあてて、確実に1秒進針になるまでに必要な充電時間のめやすです。
 この時間まで充電しなくても1秒進針になりますが、その状態ですぐに2秒進針になることがあります。この時間をめやすに充電してください。

※ 秒針の動きで、エネルギー残量を確認することができます。 → ② ご使用の前に
 ※ 充電に必要な時間は、モデルによって若干異なります。

5 電波を受信して時刻・日付を合わせる 取扱説明書 P.19

■ 自動受信

この時計は、決まった時間に自動的に電波を受信して、時刻・日付を合わせます。午前2時と午前4時に行われます。

※ 受信に成功した時点で、自動受信を終了します。

- ・窓際など電波を受信しやすい場所に置いてください
 - ・受信中は動かさないでください
- ① ご使用にあたって ■ 電波を受信しやすくするために

■ 強制受信

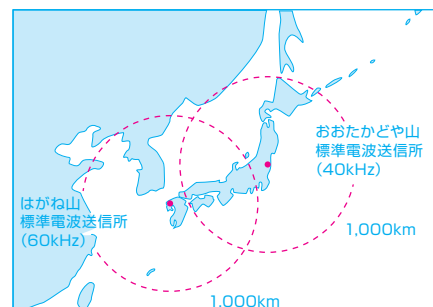
自動受信以外に、いつでも任意に電波を受信させることができます。

→ 強制受信のしかた P.54

- ※ 東京(日本)以外の地域に時差を設定すると、電波受信の機能は、はたらきません。時差の設定を確認してください。 → ⑫ 時差を設定する
- ※ 受信の成否は受信環境によって左右されます。 → ⑦ 受信しにくい環境
- ※ 受信範囲の外では電波の受信はできません。 → ⑥ 受信範囲のめやす
- ※ 受信に成功しても時刻・日付が合わないとき → こんなときは: 時刻、針のずれ P.70、日付のずれ P.72

6 受信範囲のめやす 取扱説明書 P.20

送信所からの受信範囲のめやすは、約1,000kmです。
 (各送信所を中心に半径1,000km)



NICT (情報通信研究機構) により運用されています。
 福島: おたかどや山 標準電波送信所
 周波数: 40 kHz
 九州: はがね山 標準電波送信所
 周波数: 60 kHz

※ NICT: National Institute of Information and Communications Technology
 ※ 受信範囲内でも、条件(天候・地形・建造物・方角などの影響)により、受信できない場合があります。
 → ⑦ 受信しにくい環境

7 受信しにくい環境 取扱説明書 P.22

- ・テレビ、冷蔵庫、エアコンなど家庭電化製品の近く
- ・携帯電話、パソコン、FAXなどOA機器の近く
- ・スチール機などの金属製の家具の上や近く
- ・工事現場、交通量の多い場所など、電波障害の起こるところ
- ・高圧線やテレビ塔、電車の架線の近く
- ・ビルの中、ビルの谷間や地下
- ・乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)

受信のときは、このような場所を避けてください。

8 ボタンA、Bについて 取扱説明書 P.12

デザイン性の向上や誤操作の防止のため、指で簡単に押すことのできないものがあります。ボタンの押しかたについては以下を確認してください。

<押しかた> 指で簡単に押すことのできないものがあります。

<押しかた> 指で簡単に押すことのできないものがあります。

<押しかた> 指で簡単に押すことのできないものがあります。

9 受信ができているか確認する 取扱説明書 P.24

■ 受信結果表示について

最後に受信した結果(成否)を秒針が5秒間表示します。

① ボタンAを1回押して、離す

▶ 秒針が受信結果を表示します。



ボタンA 1回押して離す

※ ボタンAは指または先の細いもので押してください。→ ⑧

※ ボタンAを押し続けると、強制受信の動作に入ります。

② 受信ができているか確認する(5秒以内)



※ 5秒経過、または途中でボタンAを押すと時刻表示に戻ります。

■ 受信結果がYになったときは

・ 受信ができています。そのままお使いください。

※ 受信に成功しても時刻・日付が合わないとき → こんなときは: 時刻、針のずれ P.70、日付のずれ P.72

■ 受信結果がNになったときは

- ・ **時計を置く場所や向きを変えて、受信させてください。**
受信範囲内でも、条件(天候・地形・建造物・方角などの影響)により、受信できない場合があります。→ ⑦ 受信しにくい環境 また、受信範囲の外では電波の受信はできません。→ ⑥ 受信範囲のめやす
- ・ **東京(日本)に時差を設定して、受信させてください。**
東京(日本)以外に時差を設定すると、電波を受信できません。時差の設定を確認してください。→ ⑫ 時差を設定する
- ・ **時間帯を変えて受信させてください。(強制受信の場合)**
同じ場所でも時間帯によって受信環境は異なります。電波の特性により、夜間のほうがより受信しやすくなります。
- ・ 電波を受信できない地域・場所でお使いのとき、またはどうしても受信がうまくいかないときは、**手動で時刻・日付を合わせてください。** → 手動時刻合わせのしかた P.58 → 手動日付合わせのしかた P.60

10 時差修正機能について(海外で使うとき) 取扱説明書 P.30

■ 時差修正機能の特長

・ **目的地の時刻を表示するには、時差修正のモードで時差を設定します。**
1時間単位の時差がある海外の時刻を表示させることができます。

・ **時差修正のモードでは、秒針の位置が東京(日本)からの時差を表します。**

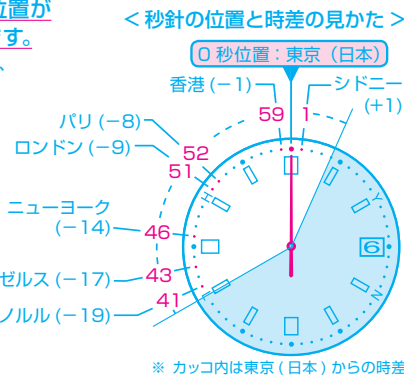
秒針の位置をめやすにボタンを操作して、時差を設定してください。

→ ⑫ 時差を設定する

→ ⑪ 世界の主な地域の時差一覧

※ 東京(日本)以外の地域に時差を設定すると、電波受信の機能は、はたらかせません。

※ 海外から日本に戻ってきたときは、東京(日本)に時差を設定してください。



11 世界の主な地域の時差一覧 取扱説明書 P.34

時差修正のモードでは、以下をめやすに時差を設定してください。

秒針位置	代表都市名(タイムゾーン)	日本からの時差	秒針位置	代表都市名(タイムゾーン)	日本からの時差
51秒	★ロンドン/UTC	-9時間	40秒	ミッドウェー島	-20時間
52秒	★パリ/ベルリン	-8時間	41秒	ホノルル	-19時間
53秒	★カイロ	-7時間	42秒	★アンカレッジ	-18時間
54秒	★モスクワ	-6時間	43秒	★ロサンゼルス	-17時間
55秒	ドバイ	-5時間	44秒	★デンバー	-16時間
56秒	カラチ	-4時間	45秒	★シカゴ	-15時間
57秒	ダッカ	-3時間	46秒	★ニューヨーク	-14時間
58秒	バンコク	-2時間	47秒	★サンティアゴ	-13時間
59秒	香港	-1時間	48秒	★リオデジャネイロ	-12時間
0秒	東京(日本)	±0時間	49秒	(リオデジャネイロのDST)	-11時間
1秒	★シドニー	+1時間	50秒	★アゾレス諸島	-10時間
2秒	ヌーメア	+2時間			
3秒	★ウェリントン	+3時間			
4秒	(ウェリントンのDST)	+4時間			

★印の地域ではサマータイムが導入されています。(2010年5月現在)

※ 東京(日本)以外の地域に時差を設定すると、電波受信の機能は、はたらかせません。

12 時差を設定する 取扱説明書 P.32

①の操作後、5秒以内に②の操作を始めてください。

※ ①の状態(針が動いていない状態)が5秒以上続くと、自動的に時刻表示に戻ります。時刻表示に戻ったときは、操作をやりなおしてください。

① ボタンBを1回押して、離す

▶ 秒針が動いて、時差修正のモードに入ります。秒針の位置で時差の設定を確認できます。



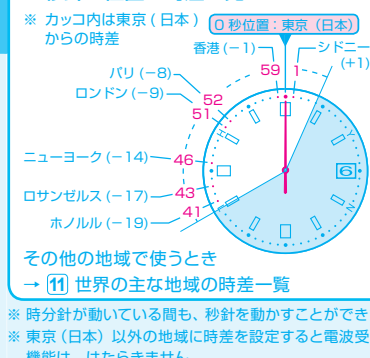
② ①の操作後5秒以内に、ボタンAまたはボタンBを押して、秒針を目的地の時差に合わせる

秒針の位置が時差を表します。右の図を参考に合わせてください。

▶ ボタンを1回押すと秒針が1秒ぶん動き、1時間時刻が動きます。



<秒針の位置と時差の見かた>



③ 時分針の動きが止まると5秒後に自動的に時差修正のモードが終了

▶ 秒針が動きはじめます。日付が変わる場合は、日付も動きます。

※ 日付が動いている間は、ボタン・りゅうずの操作はできません。